蜘蛛の名を負ふ他の動物等

福井玉夫

百合科や其他の植物でありながらラン(蘭)の名を有するものがあるやうに，本當の蜘蛛でないのにクモの名を有するものが色々ある。

先づ哺乳類にはクモザル *Ateles* が居る。これはギアナ，中米，ペルー，コロンビア等に棲んで居るもので種類も十數種あるらしい。英語でも spider-monkey と云つて居る。

昆蟲類にはクモバヘの類が居る。双翅類であるが翅がなくて肢が長くクモに似て居る。蝙蝠の外部寄生蟲で本邦では岸田久吉氏が此方面唯一の權威者である。有縁椿象類のクモヘリカメムシもクモに似て居るからで禾本科植物の害蟲である。英語で spider-beetle と云つて居るのは *Niptus hololeucus* と云ふ小さい圓形の甲蟲で，カバイロヘウホンムシの屬である。やはり形狀から來た名前であらうと思ふ。

軟體動物にはクモガヒがある。腹足類の相當大きい卷貝で本邦では琉球，臺灣地方に產するが，やはり形狀から來た名である。

甲殻類中の蟹類にはクモガニがある。クモガニ科のものであるが，その學名が *Oncinopus aranea* と言ふのもクモに關係がある。和名でクモガニと云ふのは此種だけであるが，一般に此科のものを spider-crab と稱して居る。之に反して本當のクモの事をササガニ等と云ふのは面白い事と思ふ。

棘皮動物のクモヒトデ類も勿論形狀から來た名である事は申すまでもない事と思ふが，海岸の石下に樣々な種類が見出される。

腔腸動物のイソギンチヤクのケリアントウスの幼生にアラクナクチス Arachnacti と云ふのがあるのもやはり形に關係した名であらうか。

苔蘚蟲類にクモコケムシと云ふのがある。*Arachnidium* と云ふ屬で　貝殼等に附着して居るが，全體がクモの網のやうであるからついた名前と思ふ。

ゲヂゲヂの事を獨逸語で Spinnenassel と云ふが，形から來たものかとも思はれるが，それにしては大分認識不足である。

昆蟲の所で落したがクモバチと云ふのがある。ベツカフバチの仲間でこれは幼蟲の爲に蜘蛛を巢中に入れる事から來て居る名である。

動物ではないが，クモの形狀や巢に因んでつけられたものにクモノスカビ，クモノスシダ，クモラン等があり，クモタケはクモに生ずる冬蟲夏草である。

人間の手足の指の恐ろしく長くなつたものに arachnodactylia と云ふ畸形があり，日本の見世物にも蜘蛛男と云ふのがある。

蜘蛛は雲に通じれば尊い事にもなるが，くうものもくはずにやみくもに働かなければならない人達は，むしろ網を張つてくるものをまつ蜘蛛の方がうらやましいであらう。

玩具スパイダーの記

「クモ」と名のつくものには何事にも拔目のない東亞クモ學會，其の又會員町田德治氏より去んぬる日，品川の京濱デパートにて大衆趣味の玩具スパイダーなるものを見たりとて一枚のビラを送附せられたり。此の紙片半紙四つ折の大さにて，其の中に次の如き事項記されたり。先づ右の肩には「新案特許第 15054 號」とあり，續いて大なる活字にて「大衆趣味の玩具スパイダー（蜘蛛）と堂々たる見出しを揭げ，さて本文に曰く，

此「クモ」は米國オセアニヤ州のチヤールスルイス山（海拔4870米）の高山に棲息する動物で，普通のクモと異り登山家の知る愛嬌もので，特に飛行家はマスコツトとしてこの珍らしいスパイダーを賞翫してゐます。亦この片目のスパイダーは最近醫學界の寵兒として珍重せられ，一匹二，三十圓の値にてネオホルモン劑の製造に供されてゐます。棲息狀態は高山植物や青苔を食べ　歩行は兩側宛四本の足を一つに纏め地をけり敏捷な動作をします。歩む恰好がグロ味をおび誰しも思はず笑はされます。お座敷にてはらくに八疊間を二廻り位の運動力を持つてゐます。目玉に五六回螺旋をかけて靜かに置て下さい。すれば趣味の玩具として亦家庭笑の玩具として大衆の尖端に話題を撒いてはしり廻ります」と。

東亞クモ學會々員として此の文面を讀みたる以上何くんぞ我關せずエンとしておらる